

# Try Your Dreams!

文責 大淀小学校研究部

## # Try Your Dreams!に込められた意味

本校では数年前からこの文言を掲げ、幼小交流を含めたキャリア教育を進めてきました。タイトル「Try Your Dreams!」について、以下の意味の込め方に取り組んでいます。

### Try

**挑戦する**

何事もやってみよう

今できないことも

いつかできると

信じて取り組む

### Your

**自分を大切に**

自分のよいところを見つけ

友達のよいところも

大切に

### Dreams

**夢や目標をもつ**

自分の得意を活かして

誰かの役に立つ人を

めざす



## 児童の実態調査（アンケート結果）

児童の実態調査のために、6月にアンケートを実施しました。アンケート結果は以下の通りです。これらの結果を踏まえ、さらに本校では研究を深めていきたいと思えます。

最上位（「とてもそう思う」と回答した児童の割合です！）

質問項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1 学習に対して意欲的に取り組んでいますか。	70	51	50	39	39	37
2 人の役に立つ人間になりたいと思えますか。	72	66	60	68	69	56
3 将来の夢や目標をもっていますか。	77	68	72	78	59	50
4 自分にはよいところがあると思えますか。	59	54	39	31	31	30
5 授業で学習者用端末をどの程度使用していますか。	—	—	42	67	24	53
6 学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。	—	—	47	50	32	45

%（パーセント）

記載の質問項目は高学年に実施した文言です。低学年・中学年についてはもう少し分かりやすい表現にして実施しています。また、低学年については質問項目5・6が実施していません。質問項目5については、「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「ほとんど使用していない」で調査しています。表記のパーセントについては、4件法で一番よい項目（最上位）を選択した児童の数値になります。

このアンケートの結果から、全体として児童の学習意欲・自己肯定感・将来の夢・他者貢献意識はいずれも肯定的な回答が多く、特に低学年では「とてもそう思う」が多く高い水準が見られました。一方で、学年が上がるにつれて「そう思う」への移行や「あまりそう思わない」といった回答が徐々に増加し、意識の個人差が広がる傾向にあります。また、ICT機器の活用については高学年ほど利用頻度が高く、おおむね肯定的に捉えられていますが、学習理解への結び付きについては肯定と否定が分かれている様子も見られます。

以上より、児童の意識は全体として良好であるものの、高学年において多様化・分化が進む実態が明らかとなりました。この結果を踏まえ、日々の教育活動につなげていきたいと思えます。